

ほけんだより

令和4年度 6月号

半袖で過ごせる日中は汗をかくほど暑い日もあります。これからの季節は汗や汚れで着替えをする回数が増えます。汚れ物を持ち帰った翌日は着替えの補充を忘れずにしてください。夏本番になると水遊びが始まります。今からスキンケアを行ってダイナミックに水遊びが出来るよう備えましょう。(水遊びは肌トラブルがあると出来ない場合があります。)



~~~~ 4・5月の感染症情報 ~~~~



- | | | | |
|---|-------|----|--------------------|
| 4月：水イボ | | 1名 | (らっこ組) |
| (ノロウイルスによる) 感染性胃腸炎 | | 1名 | (あかちゃん組) |
| 溶連菌感染症 | | 2名 | (ぺんぎん組 1名 らっこ組 1名) |
| 5月：とびひ | | 1名 | (あかちゃん組) |
| 突発性発疹 | | 1名 | (あかちゃん組) |
| (ノロウイルスによる) 感染性胃腸炎 | | 1名 | (あかちゃん組) |
| ～ノロウイルス感染と診断されませんでした
が胃腸炎でお休みした園児も複数名いました～ | | | |

??? 感染性胃腸炎とは ???

いわゆる「おなかにくる風邪」と言われる何かしらのウイルスに感染した下痢や嘔吐が主症状な感染症です。なかでもノロウイルスは感染力が強く、大人にも容易に感染します。便や吐物で汚れた洗濯物は次亜塩素酸ナトリウム系の漂白剤でしっかり消毒しましょう。下痢と嘔吐で水分が失われて、脱水症になる危険があります。水分摂取が困難になってきたら、すぐに受診して下さい。胃腸炎は薬を飲まなくても嘔吐が無く、普通の食事がしっかり食べることが出来るようになり、いつもの柔らかさの便が出るようになるまで家庭で療養するようお願いいたします

5月は COVID19 (新型コロナウイルス感染症) に罹患した園児が複数名いました。保育所では感染対策を見直し、徹底するよう心掛けています。引き続き、朝の検温や子どもの体調管理等 ご協力お願い致します。



熱中症にご用心



身体が暑さに慣れていないこの時期こそ、熱中症を起こす危険性が高いのです。日中の予想気温に合わせて調節しやすい服装での登所をお願いいたします。



短時間でも車内や室内に乳幼児を一人で残す事は絶対にやめましょう





これからの季節は特にご注意を！夏に多い皮膚トラブル！！

暑い夏は昆虫・細菌・ウイルスなど生き物も活発になる季節です。子ども達の柔らかく、薄い肌はターゲットになりやすく、代謝も良いため汗もよくかきます。水遊びシーズン前にもう一度 お子さんの肌の状態を確認してみてください。

皮膚トラブルは、『感染対策』と『痒み対策』が大切です。皮膚はもともと感染に対する防護機能があります。しかし、この機能は湿疹や傷、乾燥などでつい掻いてしまうことで壊れやすく、細菌やウイルスを侵入させてしまいます。痒みは温まると強くなり、冷やすと和らぎます。

皮膚トラブルを抑えるために「爪は短く切って清潔にする」「汗をかいたらきれいに拭く」「衣類は通気性・吸水性の良いものにして、こまめに着替える」など常に清潔でいられるようにいつも以上に気をつけてみて下さい。

また、皮膚の乾燥は肌の防護機能を低下させます。お子さんの身体を洗う時はナイロントオル等でゴシゴシ擦らず、(お母様達が洗顔する時のように) しっかり泡立てた泡でなでるように優しく洗うのが望ましいです。市販のボディソープは子どもの肌油分を過剰に流してしまうため、ベビー石鹸や敏感肌用石鹸を使ってみましょう。乾燥肌のお子さんは夏こそ保湿を意識したスキンケアをしっかり行いましょう。

これから暑い日には水遊びを行います。とびひや水イボなどの感染性疾患があったり、発疹や傷などで皮膚がジクジクしている時は水遊びが出来ません。今から気を付けていきしょう。

望ましい熱の測り方で測定していますか？

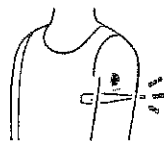
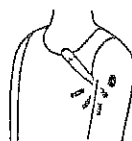
毎日にかけている体温ですが望ましい状態か再確認してみましょう。

〈あてる位置〉

わきの下、中心部分

上から差し込むと、
わきの中心にあたらぬ

横から差し込むと、
先端がでてしまう



〈あて方〉

下から押し上げる

〈はさみ方〉

隙間ができないように
脇をしっかり締めましょう



30'~45'

- 体温計の表示部分を内側に向けましょう。
- はさんだほうの手のひらを上に向け、もう一方の手で肘を脇腹に押さえつけるようにして、わきと体温計を密着させましょう。
- 計測中に体温計が動いたり、当てている位置がずれないように静かに待ちましょう。

